

# 入学式祝辞

学園長・理事長 **丹呉泰健**

2020年4月6日

令和2年、2020年の開成学園の入学に当たり、祝辞を申し述べます。

このたび開成学園に入学された諸君に心からお祝い申し上げます。入学おめでとう。保護者の方にもお祝い申し上げます。開成学園は諸君の入学を心より歓迎します。

本年は新型コロナウイルス対策のため入学式は、ホームページで祝辞を述べるという異例の形になりました。この新型コロナウイルス対策は、引き続き校長先生以下先生方がどういう対応を開成学園としてとるか連日検討をされております。新入生諸君また保護者の方は学校からの指示をしっかり聞き、従っていただくよう最初にお願いたします。

開成学園は、1871年佐野鼎先生によって創立され、初代校長は高橋是清先生であり、今年で創立149年、来年創立150年を迎える歴史と伝統がある男子の中高一貫の学校です。創立者の佐野鼎先生は1860年に日米通商条約の批准書を米国に届けるための徳川幕府の使節団の随員として米国に行く機会を得ました。先生は、米国で蒸気機関車、ガス灯、水洗の手洗いなどを始めて見聞し、また学校を訪問して教育の在り方を知り、日本が米国の科学技術や文明に劣ることに驚きました。そして自分のなすべきことは人材育成であると確信され、開成学園を創立されました。

開成学園は今や全国有数の進学校とみなされています。大学進学は諸君にとって、また開成学園にとっても大変重要な課題ですが、しかし開成学園の教育の目的は大学進学ではありません。開成学園の教育の目的は、諸君一人一人が充実した学校生活を送り、開成健児として成長し、自らの選択で社会的に有用な人材に育ててもらおうことで

す。具体的には、開成という名の由来である「開物成務」の精神、「物を開き務めを成す、すなわち生徒一人一人の素質、能力を開拓、啓発し、社会に貢献する人材を育て、人としての務めを成し遂げる」という基本の精神を学び、体得してもらうことです。そして「質実剛健」、「自主自立」、校章である「ペンは剣より強し」という言葉に表される伝統の精神を学び、開成健児として立派に成長してもらうことにあります。

諸君の学校生活がこれから始まりますが、学校生活の中心である授業は先生方がしっかり指導されます。開成では授業だけでなく、学校の行事、部活動も大変重要です。入学後、例年ですと先ず4月には筑波大学附属高校との伝統のボートレースの対抗戦があり、棒倒しで有名な運動会は5月にありますが、今年は新型コロナウイルス対策のため、ボートレースは残念ですがとりあえず中止となり、また運動会は6月に行うことを検討しています。そして9月には文化祭があります。運動部も文化部も活発に活動しています。これらの学校行事、部活動は生徒が中心となり運営しています。

諸君は毎日の授業に加えこうした行事や部活動の経験を通じて友人を作り、充実した学校生活を送るとともに開成の伝統の精神を学び、開成健児として立派に成長していきます。私は中学・高校の6年間柔道部に所属し、多くの友人を作るなど充実した毎日を過ごしました。これが現在の自分を育ててくれたと強く感じています。

このように開成学園で学んだ諸君の先輩は、今や社会のいろいろな分野で活躍し、開物成務を実践しています。諸君もこれら先輩を是非見倣ってもらいたいと思います。

なお、申し上げたように開成学園は来年、2021年に創立150周年を迎えます。このため現在、創立150周年の記念事業として、「開成の未来を創る」をモットーに高校校舎の全面的な建て替えを進めています。新しい講堂、体育館そして教室は、来年すなわち2021年の夏には完成の予定です。高校校舎の建替え期間中は、諸君にも多少の不便があると思いますが是非理解してください。

保護者の方へお願いがあります。保護者の方には、今申し上げた開成の教育の方針を理解され、御子息が自分自身で自主的に開成での生活をするよう見守っていただきたいと存じます

最後に改めて諸君に入学おめでとうと申し上げ私の祝辞とします。